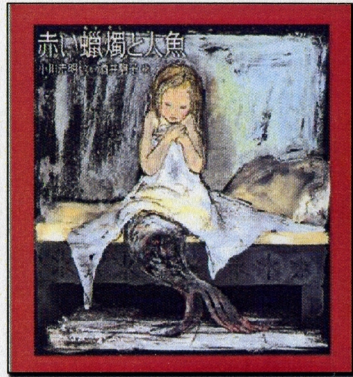


赤い蠟燭と人魚

小川未明／文 酒井駒子／絵

人間の住んでいる町は美しい。人魚の母は深くて暗い海の底で、自分の子どもを人間の夫婦に預けることにしたのだが…。悲しい物語に添えられた美しい絵は、優しさに哀しみを含んで心に残る。

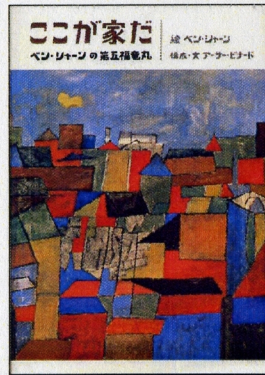


偕成社(2002年)
本体価格1400円+税

ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸

ベン・シャーン／絵 アーサー・ビナード／構成・文

「石に刻む線」と言われるベン・シャーンの絵と、アーサー・ビナードの静かに語りかけているかのような温かく、力強い言葉によって反原水爆を訴えます。歴史の流れを変えた日本の漁師の話。
読んで 感じて 考えてください。

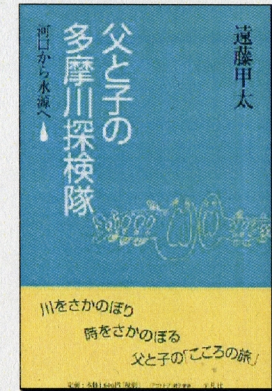


集英社(2006年)
本体価格1600円+税

父と子の多摩川探検隊 河口から水源へ

遠藤甲太／著

登山家の父と中学生の息子が、多摩川河口から水源まで旅をした。始めは緩やかな川歩きの旅だが、源流に近づくると、急流に逆らい、川を渡り沢を登る「冒険」になっていく。
多摩川の歴史や生息する生物にも詳しくなる一冊。



平凡社(2005年)
本体価格1600円+税

